

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理票 平成29年度上半期の取り組み 一目次

	総合戦略事業名	総合計画事業名	事業担当課名	ページ
1	エコノミックガーデニング推進事業	企業等立地促進事業	産業振興課	1
		商工業支援プログラム推進事業		4
2	観光推進事業	観光推進事業		7
3	タウンセールス推進事業	タウンセールス推進事業	広報戦略課	9
		マーケティング推進事業		9
4	結婚・出産・子育て環境整備事業	防災活動充実事業	町民安全課	12
		小児医療費助成事業	子育て支援課	14
		特定不妊治療費助成事業		16
		不育症治療費助成事業		17
		保育環境充実事業	保育・青少年課	19
		母子保健事業	子育て支援課	21
		う蝕予防事業		23
		子育て世代包括支援センター事業		25
5	家庭教育推進事業	家庭教育講座等開催事業	教育総務課	27
		子ども読書ふれあい事業		29
		家庭学習推進事業		31
		家庭教育推進事業		33
6	学力向上推進事業	教職員の資質向上事業	学校教育課	35
		少人数学習推進事業		37
		寒川にここにご学習推進事業		39
		中学校施設改修事業	教育総務課	42
7	子育て応援環境整備事業	男女共同参画推進事業	協働文化推進課	44
		地域子育て環境づくり支援事業	子育て支援課	46
8	安心なまちづくり整備事業	防犯対策推進事業	町民安全課	48
		防犯灯整備事業		50
9	若者参画推進事業	協働事業提案制度推進事業	協働文化推進課	52
		さむかわ若者会議促進事業		55
		さむかわ町民全体会議推進事業		57
10	公共交通環境整備事業	公共交通充実促進事業	都市計画課	59

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	エコノミックガーデニング推進事業(企業総合支援事業)						H29上半期の進捗状況	担当課名	産業振興課
実施計画事業名	商工業支援プログラム推進事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	平成29年度についても引き続き、従業員数300名以下の製造業及び開業3年未満の事業所を中心に企業訪問を実施し、課題のある事業所については、関連する組織との連携により課題解決に向けて支援を進めていく。 また、企業ニーズに対応するため、各種支援メニューの見直しを行う。						★★★ 計画どおり進んでいます。		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
寒川町地域経済コンシェルジュ委嘱	■						進行管理におけるスケジュールについてはほぼ予定どおり実施した。企業訪問については、予定どおり実施し町内製造業については事業内容等概ね把握することが出来た。今後については、地域経済コンシェルジュの支援を必要としている個別企業に対し支援を進めていく予定。		
企業訪問の実施	■	■	■	■	■	■			
企業相談の実施	■	■	■	■	■	■			
情報共有のための定例会		■		■	■	■			
各種セミナー等の実施		■		■	■	■			
ロボット導入コンサルティングの実施				■	■	■			
町内企業向け支援制度の企画立案						■			
次世代経営者研究会準備委員会の実施						■			
次世代経営者研究会の発足及び実施						■			
	■ 予定 ■ 実績								
	第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	<ul style="list-style-type: none"> 寒川町地域経済コンシェルジュの委嘱 企業訪問及び企業相談の実施 町支援制度(補助金等)の周知 課題整理等を行い、対応方針を検討。 担当内情報共有のため定例会を実施。 国等との連携事業として町内中小企業向けの支援補助金等活用説明会の実施 さむかわ次世代経営者研究会の発足 			<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問及び企業相談の実施 課題整理等を行い、対応方針を検討。 町内企業向け支援制度の検討 担当内情報共有のため定例会を実施。 さむかわ次世代経営者研究会の実施。 企業向け事業承継セミナーの実施 ロボット導入コンサルティング実施に伴う実施企業の公募 					

<p>取り組みの実施状況</p>	<p>・中小企業診断士3名を寒川町地域経済コンシェルジュとして委嘱。 ・事業計画支援、PRレポート作成支援、事業承継の聞き取り等に伴う企業訪問を実施した。 ・町支援制度の周知を図るため、商工会便りに同封し、町内商工会員に町助成制度チラシを配付した。(約1000枚) ・担当内の共有を図るため、毎月末に定例会を実施した。 ・4月20日、5月24日、6月21日にさむかわ次世代経営者研究会準備会を開催し、研究会の発足に向けて研究会の目的など経営者が望む方向性などの聞き取り等を行った。 ・6月21日に商工会との共催で、事業計画の考え方を身につけることを目的に「経営者のための事業計画策定支援セミナー」を実施した。講師には地域経済コンシェルジュを活用し、事業計画策定の必要性について講義を行った。 ・製造業の内、中小企業情報(町内企業の魅力発信レポート)の作成に同意を得た企業のレポートを作成し、町ホームページにおいて公開した。(順次作成中)</p>	<p>・事業計画支援、PRレポート作成支援、事業承継の聞き取り等に伴う企業訪問を実施した。 ・担当内の共有を図るため、毎月末に定例会を実施した。 ・さむかわ次世代経営者研究会の参加企業を町ホームページ、メール配信、企業訪問等で周知し公募した。その結果、9企業11名の方が参加することになり、10月に発足する予定。 ・ロボット導入コンサルティングの受診企業を町ホームページ、メール配信、企業訪問等により公募した。 ・神奈川産業振興センターが「神奈川県事業承継ネットワーク」を立ち上げ、国から地域の中小企業支援機関の連携体として認定を受けたことから町としてネットワークに参加した。また、ネットワークが実施する事業承継セミナーの周知を行った。 ・広報戦略課の協力を得て、広報さむかわ7月号において、支援を受けた企業や地域経済コンシェルジュの特集記事を掲載し、エコノミックガーデニングの周知を図った。 ・商工会との共催で、事業計画の考え方を身につけることを目的に「経営者のための事業計画策定支援セミナー」を実施し、参加企業による事業計画の発表会を行い、地域経済コンシェルジュによるフォローアップを行った。 ・神奈川県優良工場表彰及び小規模企業者表彰に町内から4企業を推薦した。(優良工場:1企業、小規模事業者:3企業)</p>	<p>・平成29年度についても、町の基盤産業である製造業を中心に企業訪問を実施し、信頼関係の構築及び課題等の聞き取りを実施している。 ・町の支援策を周知するために、企業訪問での説明や商工会便りに同封し、町内商工会員に町助成制度チラシを配付した。 ・4月20日、5月24日、6月21日にさむかわ次世代経営者研究会準備会を開催し、研究会の発足に向けて研究会の目的など経営者が望む方向性などの聞き取り等を行った。 ・商工会との共催で、事業計画の考え方を身につけることを目的に「経営者のための事業計画策定支援セミナー」を実施した。講師には地域経済コンシェルジュを活用し、事業計画策定の必要性について講義を行った。なお、事業計画の策定にあたっては、地域経済コンシェルジュが参加企業に訪問し個々に助言等を行った。 ・広報戦略課と連携し、広報さむかわ7月号において、昨年度支援を受けた経営者及び地域経済コンシェルジュ等を内容としたエコノミックガーデニングの特集記事を掲載し、周知を図った。 ・製造業の内、中小企業情報(町内企業の魅力発信レポート)の作成に同意を得た企業のレポートを作成し、町ホームページにおいて公開した。(順次作成中) ・神奈川県優良工場表彰及び小規模企業者表彰に町内から4企業を推薦した。(優良工場:1企業、小規模事業者:3企業)</p>
<p>実施結果から見えた課題</p>	<p>・6月末に発足予定であった次世代経営者研究会については、研究会の目的等を定めるのに時間がかかり、研究会参加企業の選定に遅れが生じている。 ・若手経営者研究会等の参加意欲のある企業(経営者)の発掘。</p>	<p>・事業計画支援や販路拡大支援に伴うPRレポート作成支援を希望する企業が少ない。</p>	<p>・若手経営者研究会等の参加意欲のある企業(経営者)の発掘。 ・事業計画支援や販路拡大支援に伴うPRレポート作成支援を希望する企業が少ない。</p>
<p>課題から見える今後の方向性</p>	<p>・昨年度、企業訪問した企業のうち、支援が必要と思われる企業への企業訪問を実施する。 ・次世代研究会の参加経営者の選定を行い、研究会を発足する。</p>	<p>・引き続き企業訪問を実施し、少しでも支援制度を活用してもらうため、信頼関係の構築に努める。</p>	<p>・昨年度、企業訪問した企業のうち、支援が必要と思われる企業への企業訪問を実施する。 ・次世代研究会の参加経営者の選定を行い、研究会を発足する。(10月発足) ・引き続き企業訪問を実施し、少しでも支援制度を活用してもらうため、信頼関係の構築に努める。</p>
<p>事業概要・実績(効果・成果)</p>	<p>企業訪問総数 38回 ・新規訪問企業 4回 ・事業計画支援 20回 ・PRレポート等支援 7回 ・事業承継調査 6回 ・支援制度関係 1回</p>	<p>企業訪問総数 94回 ・新規訪問企業 14回 ・事業計画支援 22回 ・PRレポート等支援 10回 ・事業承継調査 1回 ・支援制度関係 2回 ・次世代経営者研究会周知 5回 ・実態調査 40回</p>	<p>企業訪問総数 132回 ・新規訪問企業 18回 ・事業計画支援 42回 ・PRレポート等支援 17回 ・事業承継調査 7回 ・支援制度関係 3回 ・次世代経営者研究会周知 5回 ・実態調査 40回</p>

活動指標	現状値(年度)	単位
企業訪問回数	—	回

目標値	H29	実績値(中間)
	180	132

その他の指標	現状値(年度)	単位
相談企業数		社

目標値	H30	実績値(中間)
	15	9

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
支援メニュー利用数	74	H24-H26	件
販路拡大支援数	2	H26	件
新規事業所届出数	63	H26	件
創業に関する支援数	1	H26	件

《KPIに関連する事業》
企業等立地促進事業

目標値	H30	実績値(中間)
	125	129
	10	3
	75	24
	7	5

KPIの 達成見込み	○
見込み の理由	

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	エコノミックガーデニング推進事業(創業支援事業)						H29上半期の進捗状況	担当課名	産業振興課
実施計画事業名	企業等立地促進事業・商工業支援プログラム推進事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	<p>寒川町創業支援事業計画に伴い、産業振興課・平塚信用金庫寒川支店・湘南信用金庫寒川支店・日本政策金融公庫厚木支店に創業支援の窓口を設置し、各種相談への対応や各機関に繋げる企業サポートを行う。また、町商工会や湘南産業振興財団と連携し、町創業支援事業計画の特定支援事業としている創業支援セミナーや湘南ビジネスコンテストを開催する。</p> <p>創業支援機関をメンバーとした創業支援ネットワーク連絡会を開催し、各機関で開催するセミナー等情報の共有化を図る。</p> <p>企業誘致や既存企業の投資を促し地域産業の振興を図るため、町内に新規立地等する企業に対して税負担の軽減や雇用奨励金の支給、県の産業集積促進融資を受けた企業に対する利子補助を行うとともに、制度利用の促進のため情報を発信する。</p>						★★★		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
創業支援相談窓口設置							進行管理におけるスケジュールについてはほぼ予定どおり実施することができ、寒川町商工会と連携し、各種セミナーを共催にて実施することが出来たため。また、新たな取り組みとして、町内での創業相談や立地相談があった際、土地情報を提供するため、町不動産協会に協力をお願いし、ネットワークの構築に向けて取り組みを進めることが出来たため。		
特定創業支援事業実施									
町創業支援策の検討									
各種講座や創業支援セミナーの実施									
創業支援ネットワーク連絡会の開催									
	予定			実績					
	第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援相談の周知及び実施 創業成功事例セミナーの開催(商工会と共催) 創業支援セミナー開催予定(商工会と共催) 創業支援ネットワーク連絡会の開催 			<ul style="list-style-type: none"> 創業支援相談の実施及び周知 創業支援セミナー開催予定(商工会と共催) ビジネスコンテスト仮申請書応募締切 ビジネスコンテスト本申請書応募締切 創業支援ネットワーク連絡会の開催 					

<p>取り組みの実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス(6台)の中に、創業相談チラシを設置し、周知を図った。 ・中小企業診断士による創業相談を実施した。 ・4月25日に商工会主催・寒川町後援で「創業成功事例セミナー」を実施し、地域経済コンシェルジュを交えて、トークセッションにて創業成功までの道のりを学んでもらった。 ・5月22日に寒川町創業支援事業計画における連携支援機関を集め、創業支援ネットワーク連絡会を開催した。平成28年度の支援実績を振り返り、各連携機関の今後の取り組みについて情報共有を図った。 ・6月13日、23日、29日に商工会主催・寒川町共催で、特定創業支援事業である創業支援セミナーを実施した。経営、販路開拓、財務に関わる講義を行い、講師については、地域経済コンシェルジュの他に信用金庫の職員に依頼し講義を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月6日に寒川町商工会主催・寒川町共催で人材の確保と活用をテーマに特定創業支援事業である創業支援セミナーを実施した。 ・湘南ビジネスコンテストエントリー募集を町ホームページ、広報紙、メール配信で募集した。その結果、町内からは1名の方から応募があった。 ・創業支援ネットワーク連絡会については、会議は開催せずに今後町が実施する産業まつり創業支援ブースの出店者募集案内など連携支援機関へ周知を行った。 ・町内での創業者や立地企業を増やすため、町内での創業相談や立地相談があった情報に対して希望に添った物件情報を提供するため、町不動産協会と情報提供の際の対応方法やネットワーク作りについて打合せを行った。 ・創業相談にて販路拡大を検討している方に広報さむかわ(9月号)への広告記事を紹介し、掲載したことにより問合せが30件近くあり、販路拡大の支援を行うことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス(6台)の中に、創業相談チラシを設置し、周知を図った。 ・中小企業診断士による創業相談を実施した。 ・4月25日に商工会主催・寒川町後援で「創業成功事例セミナー」を実施し、地域経済コンシェルジュを交えて、トークセッションにて創業成功までの道のりを学んでもらった。 ・5月22日に寒川町創業支援事業計画における連携支援機関を集め、創業支援ネットワーク連絡会を開催した。平成28年度の支援実績を振り返り、各連携機関の今後の取り組みについて情報共有を図った。 ・6月13日、23日、29日、7月6日に商工会主催・寒川町共催で、特定創業支援事業である創業支援セミナーを実施した。経営、販路開拓、財務、人材に関わる講義を行い、講師については、地域経済コンシェルジュの他に信用金庫の職員に依頼し講義を行った。 ・湘南ビジネスコンテストエントリー募集を町ホームページ、広報紙、メール配信で募集した。その結果、町内からは1名の方から応募があった。 ・町内での創業者や立地企業を増やすため、町内での創業相談や立地相談があった情報に対して希望に添った物件情報を提供するため、町不動産協会と情報提供の際の対応方法やネットワーク作りについて打合せを行った。 ・創業相談にて販路拡大を検討している方に広報さむかわ(9月号)への広告記事を紹介し、掲載したことにより問合せが30件近くあり、販路拡大の支援を行うことが出来た。
<p>実施結果から見えた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創業相談件数が少ない。 ・企業等が立地する広い場所がない。 ・セミナー等に町外からの参加者が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業相談件数が少ない。 ・企業等が立地する広い場所がない。 ・セミナー等に町外からの参加者が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業相談件数が少ない。 ・企業等が立地する広い場所がない。 ・セミナー等に町外からの参加者が少ない。
<p>課題から見える今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町外の方への町創業支援事業を周知する方法を検討する。 ・立地相談のあった内容を不動産協会や金融機関へ情報を提供し、空き地利用を促進するためのネットワークを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町外の方への町創業支援事業を周知する方法を検討する。 ・立地相談のあった内容を不動産協会や金融機関へ情報を提供し、空き地利用を促進するためのネットワークを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町外の方への町創業支援事業を周知する方法を検討する。 ・立地相談のあった内容を不動産協会や金融機関へ情報を提供し、空き地利用を促進するためのネットワークを構築する。
<p>事業概要・実績 (効果・成果)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創業相談者数4名 ・創業成功事例セミナー参加者11名 ・創業支援セミナー参加者12名×3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業相談者数6名 ・創業支援セミナー参加者12名 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業相談者数10名 ・創業成功事例セミナー参加者11名 ・創業支援セミナー参加者48名

活動指標	現状値(年度)		単位
創業相談件数	0	H26	件

その他の指標	現状値(年度)		単位
創業支援に伴う講座・セミナーの実施	0	H26	回

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
支援メニュー利用数	74	H24-H26	件
販路拡大支援数	2	H26	件
新規事業所届出数	63	H26	件
創業に関する支援数	1	H26	件

目標値	H29	実績値(中間)
	15	10

目標値	H29	実績値(中間)
	4	5

目標値	H29	実績値(中間)
	115	129
	10	3
	70	24
	6	5

KPIの達成見込み	○
見込みの理由	

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの

実施結果から見えた課題	このまま継続。	連携機関が多いため、各自の役割や協力団体への依頼内容を主催者側が明確に把握する必要がある。	・イベント当日以外の日に町内外からの誘客を図れていない。 ・情報発信について、イベント時のみとなり定期的な情報発信が実施できていない。
課題から見える今後の方向性	同上。	協力内容を主催側で情報共有し、確認を怠らないよう努める。	・イベント以外の日では商店街で実施するイベントや季節に合わせた情報発信ができるよう努める。
事業概要・実績 (効果・成果)	・関係団体等と連携し、効果的な実施に向け、準備を進めた。	神輿まつり3,500人、びっちょり祭11,600人の来場があり、にぎわいの創出につながった。	寒川神社1,600,000人(1月~6月)、神輿まつり3500人、びっちょり祭11,600人

活動指標	現状値(年度)	単位
観光イベント数	4 H28	件

目標値	H29	実績値(中間)
	4	3

その他の指標	現状値(年度)	単位

目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)	単位
観光入込客数	187 H27	万人

目標値	H29	実績値(中間)
	230	162

KPIの達成見込み	○
見込みの理由	

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの

<p>取り組みの実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専従セクションとして広報戦略課を設置(4月) ・マーケティングマネージャーの公募(4月)、選考(5月～6月)、委嘱(6/22) ・移住ポータルサイト及びツール等の制作のための調整 ・移住市場に関連した調査(外部環境調査)の実施 ・eマーケティングリサーチ制度運用(モニター確保のための周知:5月周知・6月広報) ・総合計画第3次実施計画に係る町民アンケート結果分析(6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住ポータルサイト及びツール等制作内容精査と作業着手 ・外部関係団体との連携に関する意見交換 ・転入転出者を対象とした窓ロアンケート調査 ・eマーケティングリサーチ制度運用(eモニター確保及び運用) ・総合計画第3次実施計画策定に向けた事業企画(部内連携) 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進プロモーションを展開するための基盤体制として広報戦略課を設置した。さらに効果的なプロモーションの技術、ノウハウの確保と職員の育成を目的として、マーケティングマネージャーを登用した。 ・移住市場に関する調査を実施し、寒川町の移住促進を効果的に進めるためのブランドづくりに関する検討に着手した。 ・外部関係団体との連携に関する意見交換を実施した。 ・eマーケティングリサーチ制度の運用を開始し、モニターを対象とした調査を2回実施した。 ・部内連携により、ブランドを醸成していくための政策検討に着手した。
<p>実施結果から見えた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに登用したマーケティングマネージャーとの協議を進め、移住促進を効果的に進めるためには、移住促進ターゲットの価値観を浮き彫りにすることと、さらに、そのターゲットに共感を得るためのブランドコンセプトを明確にする必要があるとの協議結果となった。 ・eモニターの更なる確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・町を取り巻く移住市場の中で、効果的なプロモーションを展開するための町ブランドを醸成するための施策と、町民を巻き込んだ魅力発信のための仕掛けが必要。 ・eモニターの更なる確保 	<p>人口確保に向けた効果的なプロモーションを展開するためには、寒川町のポジティブなイメージを印象付けるためのブランドづくりが重要であり、そのブランドを醸成するための施策と町民を巻き込んだ魅力発信に向けた仕掛けづくりが課題となっている。</p>
<p>課題から見える今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町プロモーション戦略の基礎調査をベースとし、移住促進ターゲットの価値観の把握を行いながら、他の自治体との差別化ポイント、町のあるべき姿などブランドコンセプトを検討する。 ・若い世代の意見把握が目的であるeマーケティングリサーチ制度のeモニターの確保に向け、さらなる周知活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドイメージの可視化や醸成するための施策、町民を巻き込んだPR体制を構築するための仕掛けについて検討する。(部内連携) ・若い世代の意見把握が目的であるeマーケティングリサーチ制度のeモニターの確保に向け、さらなる周知活動を展開する。 	<p>ブランドイメージの可視化や醸成するための施策、町民を巻き込んだPR体制を構築するための仕掛けについて検討する。</p>
<p>事業概要・実績(効果・成果)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専従セクションとして広報戦略課を設置した。 ・マーケティングマネージャーを委嘱した。 ・移住促進の取り組みに関するブランディング検討に着手。 ・移住ポータルサイト及びツール等の制作のための調整協議に着手した。 ・移住市場に関連した調査(外部環境調査)を実施。 ・eマーケティングリサーチ制度運用しモニター確保に向けた周知活動を展開。 ・総合計画第3次実施計画に係る町民アンケート結果分析を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住ポータルサイト及びツール等制作物の具体的内容(掲載素材)の整理、素材収集作業を実施した。 ・不動産業協会をはじめとする外部関係団体との連携可能性に関する意見交換を実施した。 ・転入転出者を対象とした窓ロアンケート調査を継続実施した。 ・eマーケティングリサーチ制度運用しモニター確保に向けた周知活動を展開。 ・総合計画第3次実施計画策定に向けた事業企画(部内連携)に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進プロモーションを展開するための基盤体制として広報戦略課を設置した。さらに効果的なプロモーションの技術、ノウハウの確保と職員の育成を目的として、マーケティングマネージャーを登用した。 ・移住市場に関する調査を実施し、寒川町の移住促進を効果的に進めるためのブランドづくりに関する検討に着手した。 ・町全体における移住促進体制の構築に向けて、外部関係団体との連携に関する意見交換を実施した。 ・eマーケティングリサーチ制度の運用を開始した。

活動指標	現状値(年度)	単位
プロモーション戦略策定	-	-

目標値	H29	実績値(中間)
	体制構築	体制構築中

その他の指標	現状値(年度)	単位

目標値	H29	実績値(中間)

※活動指標及びその他指標については、戦略策定を進める中で、H29年度以降の目標を設定します。

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
定住等促進に向けたプロモーション活動メ ニュー数(累計)	0	H26	件

目標値	H29	実績値(中間)
	4	0(準備中)

KPIの 達成見込み	○
見込み の理由	1月を目途にプロモーションを展開するため、現在準備を進めており、経過は順調であることから年度目標は達成できる見込みである。

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業						H29上半期の進捗状況	担当課名 町民安全課
実施計画事業名	防災活動充実事業							
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	子育て世帯防災対策講習会の開催(保育園、幼稚園等) 町内における、保育園、幼稚園等において防災DVDの上映や講習会により、子育て世帯への防災啓発を実施する。アンケートに基づき、家庭での備蓄に対して、さらなる啓発活動を実施する。						★★★ 計画どおり進んでいます。	
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)	
ポスターパンフレット状況確認							事業に関しては、左表のとおり計画的に啓発活動等を実施している。	
各種団体訓練時等における啓発								
乳幼児の健康診査・相談時パンフレット配布								
講習会計画								
講習会内容検討								
施設管理者との調整								
パンフレット等啓発用資料の作成								
講習会実施								
講習会アンケート実施								
アンケート集計								
	予定			実績				
	第1四半期			第2四半期			上半期	
取り組みの実施予定	・ポスター、パンフレットの掲示状況確認。必要に応じて再配布。 ・自主防災組織、各種団体訓練時等における啓発			・ポスター、パンフレットの掲示状況確認。必要に応じて再配布。 ・自主防災組織、各種団体訓練時等における啓発				
取り組みの実施状況	・小学校、保育園等のポスター、パンフレットの掲示状況確認した結果、現状維持されているので、再配布は行っていない。必要に応じて、配付を行う。 ・自主防災組織、町福祉団体協議会訓練においてパンフレットや防災DVDによる啓発を行った。			・小学校、保育園等のポスター、パンフレットの掲示状況確認した結果、現状維持されているので、再配布は行っていない。必要に応じて、配付を行う。 ・自主防災組織訓練においてパンフレットによる啓発を行った。			・啓発活動については、計画的に実施している。	
実施結果から見えた課題	・特に自主防災組織訓練においては、役員等の高齢層の参加が多く、子育て世代の防災意識の向上並びに訓練参加を促す必要がある。			・第1四半期と同様に、自主防災組織訓練等に子育て世代の参加を促す必要がある。			・子育て世代にとって、防災対策の重要性や必要性を認識している一方、取組はあまり出来ていないと見受けられる。また、防災訓練にあっては、子育て世代のニーズに合った訓練が実施されていないため、訓練内容の検討も必要である。	

課題から見える今後の方向性	・地域等で開催される自主防災組織においては、役員等の参加が多く、義務的な行事となっているため、特に子育て世代を集容し、家庭、地域における防災対策の必要性を理解していただく必要がある。	・地域等で開催される自主防災組織訓練においては、特に子育て世代の参加を促すため、参加しやすい時間帯や訓練内容を検討する必要がある。	・子育て世代の防災意識向上のきっかけを与える活動(訓練や講習会等)を定期的に行うとともに、当該世代が防災対策に少しでも傾注できるような啓発活動が必要がある。
事業概要・実績(効果・成果)	・町福祉団体協議会、自主防災組織等の訓練時における一定の事業成果はあったと考えている。また、今後さらに防災・減災を目指し、自然災害への備えを推進していくためには、子育て世代の訓練参加はもちろんのこと、幅広く参加者を増やすことにより、自助、共助の推進を図っていく必要がある。	・自主防災組織等の訓練時における一定の事業成果はあったと考えている。また、今後さらに防災・減災を目指し、自然災害への備えを推進していくためには、子育て世代の訓練参加はもちろんのこと、幅広く参加者を増やすことにより、自助、共助(近助)の推進を図っていく必要がある。	・町福祉団体協議会、自主防災組織等の訓練時における一定の事業成果はあったと考えているので、下半期についても、同様に実施する。また、子育て世代の参加を促すよう、自治会等の主催者と内容を精査し、訓練等を実施する。

活動指標	現状値(年度)		単位	目標値	H29	実績値(中間)
講習会実施施設数	3	H27	件		8	2

その他の指標	現状値(年度)		単位	目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位	目標値	H29	実績値(中間)
幼児に対する災害の備えをしている子育て世帯の率	47.4	H26	%		56	年度末実施予定

KPIの達成見込み	○
見込みの理由	上半期についても、計画どおり事業実施を行っており、下半期についても、事業計画どおりの実施が見込まれるため。

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	子育て支援課
実施計画事業名	小児医療費助成事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月1日から通院に係る対象を中学3年生まで拡大(通院・入院ともに0歳から中学3年生までが対象、1歳以上は所得制限あり) 対象者への周知については、出生時、転入時等随時実施し、所得制限等により、新たに申請が必要となる対象者については、郵送による申請依頼を実施する。 						★★★		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
対象者への周知							各取組項目について、予定どおり実施できている。 また、通院に係る対象年齢の拡大についても、平成29年4月1日から実施できている。		
申請・審査・医療証発行									
	予定			実績					
	第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	対象者への周知については、出生時、転入時等随時実施し、所得制限等により、新たに申請が必要となる対象者については、郵送による申請依頼を実施する。			対象者への周知については、出生時、転入時等随時実施し、所得制限等により、新たに申請が必要となる対象者については、郵送による申請依頼を実施する。			新たに制度の対象となる方へは申請書を郵送し、転入・出生は窓口で随時説明し申請手続きを行った。また、すでに制度を受けている方へは誕生日に次の1年間の医療証を郵送し資格を自動更新し、それぞれの機会に制度の周知を行った。		
取り組みの実施状況	対象者への周知については、出生時、転入時等随時実施した。新たに申請が必要となる対象者について、申請の依頼及び受理・審査・医療証発行を行った。			対象者への周知については、出生時、転入時等随時実施した。新たに申請が必要となる対象者について、申請の依頼及び受理・審査・医療証発行を行った。					
実施結果から見えた課題									
課題から見える今後の方向性	継続実施			継続実施			継続実施		
事業概要・実績 (効果・成果)	小児が病院等受診した際に支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成した。			小児が病院等受診した際に支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成した。			窓口で一旦支払った場合においても償還払いによる助成を行っており、すべての制度適用者に助成できた。		

活動指標	現状値(年度)		単位
受給資格該当者への周知率	100	H26	%

その他の指標	現状値(年度)		単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
利用者に対する助成率	100	H26	%

目標値	H29	実績値(中間)
	100	100

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	100	100

KPIの 達成見込み	○
見込み の理由	

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	子育て支援課			
実施計画事業名	不育症治療費助成事業											
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	少子化対策の充実を図るため、不育症に悩む夫婦に対して、治療費の一部を助成し経済的負担を軽減することで、出生率の向上を図ります。						★ 遅れています。					
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)					
助成金交付申請							不育症治療費を助成する制度を整備し申請に対応できる体制はあるものの、不育症自体が国でも研究段階で治療できる医療機関に限られることや、一件の治療に要する期間も長期に及ぶこと、申請が治療期間が終了してからということなどの理由から、交付申請には至らなかった。					
助成金交付決定												
助成金交付												
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>予定</td> <td>実績</td> </tr> </table>				予定	実績				上半期		
	予定	実績										
取り組みの実施予定	年間をとおり、助成金の申請受付・決定・交付をおこなっていく。			年間をとおり、助成金の申請受付・決定・交付をおこなっていく。								
取り組みの実施状況	申請はなかった。			検査結果によって治療するかしないか決めるとの相談があったが、申請はなかった。			医療機関などを通じて、対象者への制度周知を行った。					
実施結果から見えた課題	治療を検討する家庭への制度周知は専門医療機関を通じてなされているが、一般の方にも広く周知していくことで、不育相談に繋がる可能性があるため、引き続き周知を図っていく必要がある。			治療を検討する家庭への制度周知は専門医療機関を通じてなされているが、一般の方にも広く周知していくことで、不育相談に繋がる可能性があるため、引き続き周知を図っていく必要がある。			治療を検討する家庭への制度周知は専門医療機関を通じてなされているが、一般の方にも広く周知していくことで、不育相談に繋がる可能性があるため、引き続き周知を図っていく必要がある。					
課題から見える今後の方向性	必要な時に対応できるよう制度を備えることが重要であるため、継続実施する。			必要な時に対応できるよう制度を備えることが重要であるため、継続実施する。			「治療期間」が、不育症治療を開始した日から出産、流産または死産に伴い治療が終了するまでということと長期にわたることから、申請には至っていないものの、一般への周知も行いながら、必要な時に対応できるよう制度を備えておくことが重要と考え、事業を継続する。					
事業概要・実績 (効果・成果)												

活動指標	現状値(年度)		単位
周知率	100	H27	%

目標値	H29	実績値(中間)
	100	100

その他の指標	現状値(年度)		単位

目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)	単位
不育症治療費助成対象者の出産若しくは妊娠安定期に結びついた人数(累計)	— H26	人

目標値	H29	実績値(中間)
	6	0

KPIの達成見込み	▲
見込みの理由	評価理由欄記載のとおり。

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名 実施計画事業名		H29上半期の進捗状況							担当課名
結婚・出産・子育て環境整備事業 保育環境充実事業									保育・青少年課
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	・さむかわ保育園において園舎等の老朽化が進んでおり、児童が怪我してしまう恐れがあるため、事業者が大規模修繕を行う。 大規模修繕に対して、県の「安心子ども交付金事業費補助金」を活用し、町から補助を行う。 ・一時預かり事業について、町内認可保育所4園において実施。国・県交付金等を活用し、町から園に補助を行う。							★★★	
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
県と事前着手について協議							・さむかわ保育園の大規模改修工事が予定よりも遅れているため。		
さむかわ保育園大規模改修									
県に交付申請提出									
県から交付金確定									
県に実績報告書提出									
園に対して補助金交付									
・一時預かり園 町内認可保育所4園実施									
実績に応じて、補助金交付									
国・県に交付申請・交付決定									
	第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	・さむかわ保育園大規模改修について、県の補助金の事前協議 ・一時預かり事業実施			・さむかわ保育園大規模改修について、夏季に工事が実施できるよう、業者選定、入札等園に行く。 ・一時預かり事業実施。国・県交付金交付申請。					
取り組みの実施状況	・平成29年6月8日付けにて平成29年度安心子ども交付金事業費補助金の交付申請済 ・一時預かり事業の町内4園にて実施			・平成29年8月3日付けにて神奈川県から交付決定を受けた。 ・一時預かりは4園において実施している。			・さむかわ保育園大規模改修について、6月8日に交付申請をし、8月3日に交付決定を受けた。改修工事は10月から年末にかけて実施する予定。当初の予定よりも遅れている。 ・一時預かりは4園において実施している。		
実施結果から見えた課題	・さむかわ保育園大規模修繕については秋以降工事開始予定なので、交付申請は予算額にて申請			・さむかわ保育園大規模改修は工事箇所等の打ち合わせに時間がかかり、工事開始が遅れている。園でも忙しい中での打ち合わせなので、遅れてしまった。			・さむかわ保育園大規模改修は工事箇所等の打ち合わせに時間がかかり、工事開始が遅れている。園でも忙しい中での打ち合わせなので、遅れてしまった。		
課題から見える今後の方向性				・工事開始が遅れているが、年内の工事完了に向けて引き続き園と調整を図っていく。			・工事開始が遅れているが、年内の工事完了に向けて引き続き園と調整を図っていく。		
事業概要・実績 (効果・成果)							・さむかわ保育園大規模改修は年内に工事完了予定。		

活動指標	現状値(年度)	単位

その他の指標	現状値(年度)	単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)	単位
乳幼児が良好に過ごせる保育確保量の増加率	— H26	%
待機児童数	10 H26	人

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	—	
	0	11

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	<p>今年10月開所した家庭的保育事業により3名分保育所枠が増となっている。</p> <p>現在進めている他事業において、来年度認定こども園が開所予定であり、50名の保育所枠が増となる予定があることや、上記家庭的保育事業も定員を5名と拡充する予定がある。また来年度6月から小規模保育事業も開所予定があるため、KPIの達成が見込まれる。</p> <p>ただし、保育所枠は増となるが、保育の申込数も年々増加傾向とあり、正確な予測が困難であることから、見込についても流動的である。</p>

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	子育て支援課
実施計画事業名	母子保健事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	定期的に妊婦健診を受診し、安心して、妊娠・出産ができるよう、妊婦健診費用補助券を発行し、妊婦の経済的負担を軽減します。						★★★		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
補助券の発行・説明							予定どおり、妊娠届出者及び転入した妊婦に妊婦健診費用補助券を発行し、妊婦の経済的負担を軽減できている。		
受診状況の確認と受診勧奨									
次年度用補助券の印刷									
	予定 ≡≡≡ 実績 第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	・窓口発行 ・受診状況の確認			・窓口発行 ・受診状況の確認					
取り組みの実施状況	補助券発行数 4月 46+転入1 5月 34+転入3 6月 32+転入2 合計118人 申請者への補助券発行率100%			補助券発行数 7月 32+転入1 8月 26+転入7 9月(26日時点) 26+転入1 合計93人 申請者への補助券発行率100%			上半期補助券発行数 211人 (H28 第1四半期105人、第2四半期90人、上半期195人) 申請者への補助券発行率100%		
実施結果から見えた課題									
課題から見える今後の方向性	継続実施			継続実施			継続実施		
事業概要・実績 (効果・成果)	妊婦の経済的負担の軽減を図れているとともに、妊婦の状況把握につながれている。			妊婦の経済的負担の軽減を図れているとともに、妊婦の状況把握につながれている。			補助券は、窓口での妊娠届出(母子健康手帳交付)の際と、転入の場合は従前住所地発行の補助券と交換して、いずれも窓口において発行している。費用の助成は、補助券使用分については神奈川県産科婦人科医会への委託料、補助券記載額未満で不使用の受診者には償還払いの形で実施しており、妊婦の経済的負担の軽減と身体状況等の把握につながっている。		

活動指標	現状値(年度)		単位
妊婦健診費用補助券発行率	100	H27	%

その他の指標	現状値(年度)		単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
妊婦健診費用助成率	100	H26	%

目標値	H29	実績値(中間)
	100	100

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	100	100

KPIの達成見込み	○
見込みの理由	

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	子育て支援課
実施計画事業名	う蝕予防対策事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	2歳児歯科健康診査を実施し、歯科保健指導と食育指導を強化することにより、幼児及び保護者が適切な保健行動をとれるように支援します。妊娠期からの切れ目ない支援として、妊娠期、乳児期、幼児期の特徴にあわせ、母子保健事業での歯科保健指導・食育指導を継続します。						★★★ 計画どおり進んでいます。		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
歯科医師会委託契約	■						事業は計画通り実施でき、3歳6か月児健診でのう蝕のない児の割合も目標値(H29年度86%)に近づいている。		
2歳児歯科健診個別通知		■		■					
2歳児歯科健診実施		■		■					
未受診者通知	■	■	■	■	■	■			
小冊子配布	■	■	■	■	■	■			
	予定			実績					
	第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師による歯と口腔の診察 ・歯科衛生士による個別歯科相談とブラッシング指導 ・保健師による発育・発達の確認と生活相談 ・看護師による身体計測 ・栄養士による、幼児食やおやつとの与え方についての小集団指導と個別栄養相談 ・歯みがき習慣の確立及び良い食習慣の確立のため、妊婦及び乳幼児保護者に歯の健康づくりについて説明し、小冊子を配布 								
取り組みの実施状況	・2歳児歯科健診 4月～6月 受診率100% う蝕のない児98.1%		・2歳児歯科健診 7月～9月 受診率83.9% 7月～8月う蝕のない児100%		・2歳児歯科健診 上半期 受診率91.6% (前年同時期91.9%) う蝕のない児98.7% (前年同時期96.8%)		・3歳6か月児健診 4月～6月 受診率84.8% う蝕のない児79.8%		
			・3歳6か月児健診7月～9月 受診率97.0% 7月～8月う蝕のない児88.7% ※う蝕のない児の割合は、9月の健診結果集計の都合で10月下旬になってしまうため、7～8月健診結果によるものとなっている。		・3歳6か月児健診 上半期 受診率91.0% (前年同時期95.5%) う蝕のない児83.9% (前年同時期78.4%) ※今年度のう蝕のない児の割合は、4～8月健診結果による。				
実施結果から見えた課題	2歳児歯科健診の受診率は100%でう蝕予防の働きかけは対象者全員に実施できた。3歳6か月児健診の受診率はやや低下している。う蝕のない児は79.8%で目標値は達成できていない。		2歳児歯科健診の受診率は本人や兄弟姉妹等の体調等の都合で低下している。3.6健診の受診率は第1四半期より上がっており、う蝕のない児も88.7%に上昇している。		2歳児歯科健診の4～8月のう蝕のない児は98.7%。3.6健診のう蝕のない児の割合は83.9%で、H29目標値86%は達成できていないが、H27年にブラッシング指導を強化した児が3歳6か月となってきており、今後の結果をみていく。				
課題から見える今後の方向性	事業継続。3歳6か月児健診未受診者に受診勧奨し、う蝕のない児の状況を確認していく。		事業継続。3歳6か月児健診未受診者に受診勧奨し、う蝕のない児の状況を確認していく。		H27年度に取組を強化した児が3歳6か月になり、徐々にではあるが取組の効果が数字に出始めている。また、H28年度からはそれまでの2歳児歯科相談を2歳児歯科健診に改め、受診率も上がっていることから、今後、指導の効果がより表れてくると思われるので、未受診者への受診勧奨を行いながら、う蝕のない児の状況を確認していくため、事業を継続する。				
事業概要・実績 (効果・成果)			3.6健診のう蝕のない児の割合は、すこしづつ上昇している。		目標値には達していないものの、H27年度以降の取組強化の効果が徐々に出てきている。				

活動指標	現状値(年度)		単位
2歳児歯科健診受診率	72.2	H27	%

(2歳児歯科相談)

その他の指標	現状値(年度)		単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
3歳6ヶ月健診でう蝕のない児の割合	83.8	H26	%

目標値	H29	実績値(中間)
	74	91.6

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	86	83.9

KPIの 達成見込み	○
見込み の理由	

- :達成が見込める
- ▲:達成が困難、手法の見直しが必要
- :中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	子育て支援課
実施計画事業名	子育て世代包括支援センター事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	妊娠届出時に全ての妊婦に面接し、状況を継続的に把握し、手厚い支援を要する妊婦に必要な支援を実施する。						★★★ 計画どおり進んでいます。 (上記評価とした理由)		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
妊娠届出時の面接									
支援が必要な妊婦支援									
産後ケア事業									
	予定			実績					
	第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	妊娠届出時にすべての妊婦に面接し、状況を把握する。支援が必要な妊婦を継続的に支援する。産後に不安のある妊婦を産後ケアに結びつける。			妊娠届出時にすべての妊婦に面接し、状況を把握する。支援が必要な妊婦を継続的に支援する。産後に不安のある妊婦を産後ケアに結びつける。					
取り組みの実施状況	妊娠届出時面接 4～6月112人 面接率100% 継続支援延べ件数 4～6月334件 支援率100% 産後ケア4～6月延べ利用数 訪問型3回 デイサービス型1日			妊娠届出時面接 7月～9月 89人 面接率100% 継続支援延べ件数 7月～9月 658件 支援率100% 産後ケア 7～9月延べ利用数 訪問型9回 デイサービス型18日 宿泊型11日			妊娠届出時面接 上半期 201人 面接率100% 継続支援延べ件数 上半期 992件 支援率100% 産後ケア 上半期延べ利用数 訪問型12回 デイサービス型19日 宿泊型11日		
実施結果から見えた課題	妊娠届出時の面接に把握した情報から、支援が必要な妊婦に対する継続支援が適切に実施できている。また、産後ケアについても徐々に利用が増えてきている。			妊娠届出時の面接に把握した情報から、支援が必要な妊婦に対する継続支援が適切に実施できている。また、支援が必要なケースが適切に産後ケアを利用できている。			今年度からの新規事業で、母子保健コーディネーター(助産師)2名を配置し、妊娠届出時の面接から、家庭の状況や本人の状況など妊婦を取り巻く様々な状況を把握しながら、支援が必要と判断した妊婦を適切にフォローしながら継続して状況を把握し、産後不安のある妊婦を産後ケアに結び付けるなど、継続的な支援を実施している。		
課題から見える今後の方向性	妊娠届出時の面接からの支援が必要な妊婦の把握と妊産婦の支援を継続する。			妊娠届出時の面接からの支援が必要な妊婦の把握と妊産婦の支援を継続する。					
事業概要・実績 (効果・成果)				妊娠中及び出産後に母子保健コーディネーターへの相談が増えており、子育て世代包括支援センターが相談先として定着しつつある。			母子保健コーディネーターとして助産師2名を配置し、妊娠届出時の面接から、家庭の状況や本人の状況など妊婦を取り巻く様々な状況を把握しながら、支援が必要と判断した妊婦を適切にフォローしながら継続して状況を把握し、産後不安のある妊婦を産後ケアに結び付けるなど、継続的な支援を実施している。母子保健コーディネーターへの相談も増加傾向にあり、支援を必要とする人たちの間にこの事業が定着しつつある。		

活動指標	現状値(年度)	単位

その他の指標	現状値(年度)	単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)	単位
子育て世代包括支援センターにおける支援の必要性の高い妊婦への支援実施率	- H26	%

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	100	100

KPIの達成見込み	○
見込みの理由	

○:達成が見込める
▲:達成が困難、手法の見直しが必要
-:中間値のないもの

事業概要・実績 (効果・成果)			
--------------------	--	--	--

活動指標	現状値(年度)		単位
開催回数	2	H27	回

目標値	H29	実績値(中間)
	3	0

その他の指標	現状値(年度)		単位

目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合(小学校)	43.8	H26	%
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合(中学校)	60.8	H26	%

目標値	H29	実績値(中間)
	46	現在分析中のため
	63	現在分析中のため

《KPIに関連する事業》
 家庭教育推進事業
 家庭学習推進事業
 子ども読書ふれあい事業

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	現在分析中のため

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

活動指標	現状値(年度)		単位
おはなし会の開催数	63	H28	回

その他の指標	現状値(年度)		単位
おはなし会の平均参加人数	23	H28	人

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合(小学校)	43.8	H26	%
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合(中学校)	60.8	H26	%

《KPIに関連する事業》
 家庭教育推進事業
 家庭教育講座等開催事業
 家庭学習推進事業

目標値	H29	実績値(中間)
	60	27(4~8月)

目標値	H29	実績値(中間)
	25	21(4~8月)

目標値	H29	実績値(中間)
	46	現在分析中のため
	63	現在分析中のため

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	現在分析中のため

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	家庭教育推進事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	学校教育課
実施計画事業名	家庭学習推進事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	今年度は、計画的な学習及び予習・復習など自主的な学習への意欲を促すような指導の工夫を図るため、家庭学習の方法など参考となる資料の作成・活用を進める。						★★★ 計画どおり進んでいます。		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
学力調査質問紙の分析							今後の取り組みに必要な学習状況についての情報を分析しているため。 (家庭学習の時間、放課後の過ごし方、学習における課題等) 家庭学習の推進については、e-ライブラリの利活用を促進させるため、町内公立学校において、児童、教職員を対象にした講習会を実施したほか、スケジュール通り概ね実施した。		
各学校の家庭学習のすすめについて調査									
他地区の家庭学習のすすめについて調査									
「家庭学習の手引き」小学校版の改訂・印刷									
「家庭学習の手引き」中学校版の改訂・印刷									
e-libraryの活用研修会(教員)									
e-libraryの活用説明(児童・保護者)									
家庭学習の手引き配付・活用									
家庭学習習慣の分析									
	予定 実績								
取り組みの実施予定	課題分析及び各学校における学習のすすめ等を収集および全国学力学習調査の質問紙の調査・分析をし、寒川町版手引きの改訂の見直しについて計画する。			家庭学習の手引きに記載したeライブラリの活用をより一層促すために、講習会・説明会を開催する。					
取り組みの実施状況	「家庭学習の手引き」を[昨年度中に作成しており、4月に町内全児童・生徒に当該学年版を配付した。			町内公立学校において、児童、教職員を対象にした講習会を実施し、e-ライブラリの家庭での利活用について促した。			家庭学習の手引きについては、4月に町内全児童・生徒に配布した。また、e-ライブラリの利活用を促すため、児童、教職員を対象とした講習会を実施した。		
実施結果から見えた課題	年度当初に配付することは動機付けとしては有効と考えられるが、意欲の持続を促すには配布時期を吟味していかなくてはならない。			家庭での学習の必要性、また、その前提となる町の状況について、家庭へのアプローチを充実させる必要がある。			次年度の配布に向けて、全国学力・学習状況調査の分析をすることで、学習状況の把握をしなくてはならない。 (結果については現在分析中)		
課題から見える今後の方向性	継続して啓発していく手段として家庭版学校教育だより等を活用していくことも視野に入れて周知を図っていく。			家庭版学校教育だより等で、現在の学習状況について周知し、取り組みの必要性について発信する。			家庭でe-ライブラリを活用することで、学力向上に関して分析を通して明確になった課題についてアプローチをしていく。また、その課題や利活用の方法について発信していく。 (結果については現在分析中)		
事業概要・実績 (効果・成果)	全児童・生徒に配付済み			児童、教職員を対象にしたe-ライブラリ講習会の実施			家庭学習の手引きの全児童・生徒への配布 e-ライブラリの利活用のための児童、教職員向けの講習会の実施		

活動指標	現状値(年度)	単位
小中学生全家庭への手引きの配付率	100	%

その他の指標	現状値(年度)	単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)	単位
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合(小学校)	43.8 H26	%
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合(中学校)	60.8 H26	%

《KPIに関連する事業》
 家庭教育推進事業
 家庭教育講座等開催事業
 子ども読書ふれあい事業

目標値	H29	実績値(中間)
	100	100

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	46	現在分析中のため未記入
	63	現在分析中のため未記入

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	現在分析中のため

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	家庭教育推進事業							H29上半期の進捗状況	担当課名	教育総務課
実施計画事業名	家庭教育推進事業									
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	0歳～15歳までの子を持つ家庭に、家庭での教育の一助としてため、発達段階に応じた子育てや家庭学習のポイントをまとめた冊子を作成し、対象家庭へ配布します。							★★ 少し遅れています。		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)			
冊子作成							記載内容やレイアウト等の選定、検討に時間がかかり、原案作成作業に遅れが出ている。			
冊子配布										
	予定 ≡≡≡ 実績 第1四半期			第2四半期				上半期		
取り組みの実施予定	・原案作成 ・関連各課調整			・関連各課調整 ・印刷製本 ・保育園、幼稚園、学校を通じて配布						
取り組みの実施状況	・関連各課等から収集した情報をもとに原案作成作業を開始した。			・冊子作成に向けた原案作成作業				・冊子作成に向けた原案作成作業		
実施結果から見えた課題	・必要なときに手に取って、活用していただけるようレイアウト等を工夫する必要がある。			・限られた紙面の中で、必要なときに手に取り、活用しやすい有益な情報を記載するため、収集した情報等をさらに絞り込み、記載内容やレイアウト等を検討する必要がある。				・限られた紙面の中で、必要なときに手に取り、活用しやすい有益な情報を記載するため、収集した情報等をさらに絞り込み、記載内容やレイアウト等を検討する必要がある。		
課題から見える今後の方向性	・レイアウト等を工夫して、活用しやすい冊子作成を目指す。			・引き続き記載内容やレイアウト等の検討を行い、できる限り早い時期の作成、配布を目指す、原案作成作業を進める。				・引き続き記載内容やレイアウト等の検討を行い、できる限り早い時期の作成、配布を目指す、原案作成作業を進める。		
事業概要・実績 (効果・成果)										

活動指標	現状値(年度)	単位

その他の指標	現状値(年度)	単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合(小学校)	43.8	H26	%
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合(中学校)	60.8	H26	%

《KPIに関連する事業》
 家庭教育講座等開催事業
 家庭学習推進事業
 子ども読書ふれあい事業

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	46	現在分析中のため
	63	現在分析中のため

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	現在分析中のため

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	学力向上推進事業						H29上半期の進捗状況	担当課名 学校教育課
実施計画事業名	教職員の資質向上事業							
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	小中学校の教職員経験を有する者で、教育の現状に精通しておりその経験を生かして、若手教員の育成及び学校経営において先進的に牽引・補助する専門指導員を、小中学校に一名ずつ配置する。若手教員の授業力向上により、児童生徒の学力向上につなげる。						★★★	
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)	
初任者・若手教員の指導計画作成	■						若手教員、経験年数の少ない職員の授業や児童・生徒指導への実践的な指導に取り組み、授業力の改善や指導力の向上に取り組んでいる。 授業や教材の指導、助言については教職員の即時評価にもつながっている。	
学習指導への指導、助言	■	■	■	■	■	■		
研修会での助言			■	■	■	■		
研究講座、研修会への参加			■	■	■	■		
研究授業の参観と指導			■	■	■	■		
町研究会への参加、指導				■	■	■		
初任者・若手教員の指導報告				■	■	■		
寒川にこにこ学習会への助言等 教育委員会との研究協議		■		■	■	■		
	予定			実績				
	第1四半期			第2四半期			上半期	
取り組みの実施予定	○指導対象教員への指導構想、指導計画の作成。面談、相談の実施。 ○授業参観と授業改善へ向けた指導支援の開始。 ○教育委員会学校訪問への参加と助言。研究授業での指導助言 ○進捗状況について連携継続。			○授業参観と指導支援の継続。寒川にこにこ学習講師に関する指導助言。 ○夏休み期間における教職員研修会講師 ○教育委員会との研究協議。				
取り組みの実施状況	○指導対象教員の個別支援が丁寧に行われ、若手教員や経験年数の少ない職員への実践的な指導がなされている。			○夏休み期間における教職員研修会講師として授業の内容や教材、会話に至るまで細やかな指導がなされた。			○若手教員や経験年数の少ない教員への細やかな指導が行われ、授業や生徒指導における悩みについても丁寧に個別支援を行うことができた。	
実施結果から見えた課題	○専門指導員から日々の授業指導や教材等の情報提供や研修参加が求められている。 ○個から全体への共有			○より専門的で実践的な指導を現場の多くの職員で共有していくこと。 ○指導時間の確保			○日々の教育課題について、教員間で共有しながら、解決策を検討するなどの指導時間の確保が必要。 ○学校現場での指導や研修に携わる時間が多かつたため、にこにこ学習会までは関わることができなかった。	
課題から見える今後の方向性	○町や県の研修等の幅広い研修の必要性。参加の方向性を検討していく。			○分野にとられない研修参加の必要性。参加体制の作り方を考える。			○経験があり、多くの教育課題に精通している専門性をより多くの職員の指導力向上に役立てること。 ○学校における多様な課題について相談にのるため、様々な分野の研修の機会を確保する。	

事業概要・実績 (効果・成果)	○若手教員の育成、授業力向上	○指導書ではなく、人が教えていく部分での指導力向上	○若手や経験の浅い教員の授業力向上の大きな一助となり、実践力につながった。 ○その場で、指導助言をもらいながら次に生かせる即時評価にもつながり、職員の学習意欲にもつながった。
--------------------	----------------	---------------------------	--

活動指標	現状値(年度)	単位
小学校1名、中学校で1名、計2名の教育フロンティア専門指導員の配置率	—	%

目標値	H29	実績値(中間)
	100	100

その他の指標	現状値(年度)	単位

目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
基礎力定着度確認問題の正答率(小学校)	77.1	H26	%
基礎力定着度確認問題の正答率(中学校)	56.9	H26	%

目標値	H29	実績値(中間)
	80	学年末に実施予定のため中間報告実績値なし
	60	学年末に実施予定のため中間報告実績値なし

《KPIに関連する事業》
 少人数学習推進事業
 寒川にこここ学習推進事業
 中学校施設改修事業

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	年度末に実施予定のため現段階では数値なし

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

活動指標	現状値(年度)	単位
配置された非常勤講師による少人数授業の実施回数	小3300 中1980	回
(2月末)		

その他の指標	現状値(年度)	単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
基礎力定着度確認問題の正答率(小学校)	77.1	H26	%
基礎力定着度確認問題の正答率(中学校)	56.9	H26	%

《KPIに関連する事業》
 教職員の資質向上事業
 寒川にこにこ学習推進事業
 中学校施設改修事業

目標値	H29	実績値(中間)
	小:3500 中:2100	1800 小1080、中720

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	80	年度末に実施予定のため中間実績数値なし
	60	年度末に実施予定のため中間実績数値なし

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	年度末に実施予定のため現段階では数値なし

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	学力向上推進事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	学校教育課
実施計画事業名	寒川にこここ学習推進事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	学力には個人差があり授業における個別対応には限界がある。また塾へ通うことが難しい児童・生徒及び外国につながる児童・生徒(日本以外での生活経験者や外国籍児童・生徒等)の支援としてのニーズに応えるため、学校以外に学習の相談が出来る場を設け、地域の人材等を活用した学習の場を設定する。 基本問題練習を中心にタブレットを導入して学習方法の工夫をはかる。						★★★		
							計画どおり進んでいます。		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
実施計画の作成	■						学習会自体は定期的に行われ好評である。塾へ通うことが難しい児童生徒だけでなく、自宅での一人学習が苦手な児童なども参加している。		
タブレットの導入	■								
講師の募集	■								
児童・生徒の募集	■								
学習会のための打合せ	■								
学習会の実施	■								
学習会運営における情報交換	■								
学習会の成果と課題のまとめ	■								
来年度の募集の準備	■								
	■ 予定			■ 実績					
	第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	4月広報紙、及び学校からのチラシで講師及び生徒募集、会場予約 ○講師、児童生徒の募集・とりまとめ ○非常勤講師との契約確認 ○学習会の実施 ○タブレットの導入に向けて準備			○学習会の実施 ○タブレット導入(使用方法工夫) ○講師情報交換会 ○未来塾との連絡会					
取り組みの実施状況	4月11、14、21、25日(4回) 5月8、16、22、30日(4回) 6月5、13、16、23、29日(5回) 合計13回			7月4、10、18、24日(4回) 8月7、24、29日(3回) 9月4、12、19、29日(4回) 合計11回			月4回(週1回程度)時間は15:50~17:30 町民センター視聴覚室等で実施 学習会に登録している児童生徒人数は約70名。 上半期の参加は毎回10~15名前後。 講師は7名。(うち教職員OB5名、一般2名)		

<p>実施結果から見えた課題</p>	<p>小学生の時に通っていた児童は中学生になってからは、学校の日課や部活動で通えないことが多い。 児童、生徒が講師の割合より多い時、少ないときがある。 出席者の管理、講師との調整、学習会などの運営について、指導主事が本来の業務を止めて、時間がない中で、実施している。本格的に実施するには、指導主事以外の運営担当が必要と考える。また、講師の先生方に運営をお願いするには、ボランティアとしての謝礼のみの中ではどうかと考える。</p>	<p>中学生は、学校の日課や部活動で通えないことが多い。夏休みは、児童・生徒の予定もいろいろあり、参加が少なかった。また、児童、生徒が講師の割合より多い時、少ないときがある。 出席者の管理、講師との調整、学習会などの運営について、指導主事が本来の業務を止めて、実施運営を行っているのが現状。今後の拡張および実施するためには、指導主事以外で責任をもって運営ができる職員(18:00まで勤務できる人)が必要と考える。また、講師の先生方に運営をお願いするには、図書券のみ。今後別の方法も検討。</p>	<p>・昨年通っていた小学生も、中学生になると生活リズムが変わり、通えなくなってしまったので、登録はあるものの出席していない生徒が多い。(時間的に難しい) ・塾とは違い、自由参加性になっているので、生徒が講師の割合より多い時と少ない時がある。 ・出席者の管理、講師との調整、学習会などの運営について、指導主事が実施運営を行っているのが現状である。今後の拡張および実施するためには、指導主事以外で責任をもって運営ができる職員(18:00まで勤務できる人)が必要と考える。 ・学習会におけるタブレットの導入が始まり、学習が進んでいるため、タブレット学習担当者が必要となる。同時に、宿題や自分の課題の相談にのってほしいという児童生徒のニーズに応えられるよう、個別学習対応も充実していかなければならない。 ・講師先生方に運営もお願いしていきたいが、現在は1時間1000円の図書カードの謝礼であり、学習指導のみが精いっぱい現状である。</p>
<p>課題から見える今後の方向性</p>	<p>・今後の継続を考えると、学校教育の位置づけではないという意味で、町内の担当課を再検討するべきか。(参加者のルールづくり、運営組織を含めて)</p>	<p>・経済的支援、放課後支援という観点からは、学校教育の位置づけではないという意味で、業務委託をするなど、行政がどこまで担うのかは、検討。</p>	<p>・経済的支援、放課後支援という観点からは、学校教育の位置づけではないという意味で、業務委託をするなど、行政がどこまで担うのかは、検討の必要がある。 ・講師の先生方に、運営全般までは責任を負うのは負荷が大きいと考える。</p>
<p>事業概要・実績(効果・成果)</p>	<p>新年度に入っても、参加希望の児童・生徒が少しずつ増えている。講師の先生方とも良い関係が築けている。</p>	<p>タブレット学習も導入し、自学自習のスタイルも作ることができるようになった。</p>	<p>・子どもの学びの場としては、講師の先生とじっくりと学べる環境があることは大変良いと考える。</p>

活動指標	現状値(年度)	単位
学習会の年間実施回数	33	回

目標値	H29	実績値(中間)
	60	24

その他の指標	現状値(年度)	単位

目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
基礎力定着度確認問題の正答率(小学校)	77.1	H26	%
基礎力定着度確認問題の正答率(中学校)	56.9	H26	%

目標値	H29	実績値(中間)
	80	年度末に実施予定のため中間実績数値なし
	60	年度末に実施予定のため現段階では数値なし

《KPIに関連する事業》
 教職員の資質向上事業
 少人数学習推進事業
 中学校施設改修事業

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	年度末に実施予定のため現段階では数値なし

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	学力向上推進事業							H29上半期の進捗状況	担当課名 教育総務課
実施計画事業名	中学校施設改修事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	【基本】学校生活における生徒の安全確保及び教育環境の改善に向けて、老朽化した学校施設の改修を行う。 【29年度】学習環境の改善を学力向上の一助とするため、中学校3校の普通教室に空調機を設置する。							★★★	計画どおり進んでいます。
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
普通教室空調機設置工事 工事打合せ等 設置工事				■	■	■		8月末までに所定どおり空調機の設置を完了し、2学期から稼働させることができたから。	
取り組みの実施予定	・空調機設置 電気設備工事業者、空調機納入業者、学校との調整			・空調機設置 工事実施、完了確認、稼働開始					
取り組みの実施状況	・空調機設置 電気設備工事業者、空調機納入業者、学校との調整			・空調機設置 工事実施、完了確認、稼働開始				・空調機設置 工事実施、完了確認、2学期から稼働 寒川中14室、旭が丘中21室、寒川東中15室 計50室	
実施結果から見えた課題				学習環境の向上のための効果的かつ効率的な空調機の利用				学習環境の向上のための効果的かつ効率的な空調機の利用	
課題から見える今後の方向性				学習環境の向上のための効果的かつ効率的な空調機の利用を考案する。				学習環境の向上のための効果的かつ効率的な空調機の利用を考案する。	
事業概要・実績 (効果・成果)				3中学校の普通教室等50室に空調機を設置、稼働させ、学習環境の整備を図った。				3中学校の普通教室等50室に空調機を設置、稼働させ、学習環境の整備を図った。体育祭の練習後の次の授業にスムーズに入れた。(以前は、クールダウン等に時間を要し、すぐに授業を始めることが難しかった。) 授業への集中度が高まっている。	

活動指標	現状値(年度)		単位
普通教室空調機整備	0	H28	室

その他の指標	現状値(年度)		単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
基礎力定着度確認問題の正答率(小学校)	77.1	H26	%
基礎力定着度確認問題の正答率(中学校)	56.9	H26	%

《KPIに関連する事業》
 教職員の資質向上事業
 少人数学習推進事業
 寒川にこにこ学習推進事業

目標値	H29	実績値(中間)
	工事	完成(50室に設置)

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	80	年度末に実施予定のため 中間実績数値なし
	60	年度末に実施予定のため 現段階では数値なし

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	年度末に実施予定のため現段階では数値なし

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	子育て応援環境整備事業						H29上半期の進捗状況	担当課名 協働文化推進課
実施計画事業名	男女共同参画推進事業							
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	第4次さむかわ男女共同参画プランの実施計画に定めた仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のための環境づくりを行う事業を各事業担当課において実施し、取り組みを進める。						★★	
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)	
各担当課で実施計画事業を実施							男女共同参画プランの進行管理については、概ね予定どおり進捗している。 プランの実施計画の中間見直しについては、各事業の予定事業費、目標数値等を町総合計画後期基本計画の第3次実施計画(平成30~32年度)と整合性をとるため、スケジュールを変更した(12月~1月の見込み)ため、予定より遅れている。	
28年度各課実績報告とりまとめ								
男女共同参画プラン連絡会								
男女共同参画プラン推進協議会								
第4次プラン実施計画中間見直し 30年度各課実施計画とりまとめ								
	予定 実績							
	第1四半期			第2四半期			上半期	
取り組みの実施予定	・各事業担当課のH29事業実施 ・H28事業実績報告とりまとめ及び各会議への報告			・各事業担当課のH29事業実施 ・H28事業実績報告の評価 ・実施計画の中間見直し(後期計画の事業費及び指標に対する目標数値の設定含む)				
取り組みの実施状況	・4/1~6/30 各事業担当課のH29事業実施(労働、子育て、介護に関する教室・講座の開催、情報提供、意識啓発、子育て家庭等への支援事業) ・H28事業実績報告とりまとめ ・5/30 第1回男女共同参画プラン連絡会(事業担当課長級からなる連絡会で各事業の実績報告に対する内容確認・意見交換) ・6/27 第2回男女共同参画プラン連絡会と第1回男女共同参画プラン推進協議会の合同開催(外部委員からなる推進協議会から各事業担当課へ、事業の実績報告に対する内容確認、意見・評価)			・7/1~9/30 各事業担当課のH29事業実施(労働、子育て、介護に関する教室・講座の開催、情報提供、意識啓発、子育て家庭等への支援事業) ・H28事業実績報告の評価 (男女共同参画プラン推進協議会委員によるH28実績報告に対する評価のとりまとめ)			・子育て等と仕事の両立の実現に向け、さむかわ男女共同参画プラン実施計画に定めた仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のための環境作りを行う事業を各事業担当課において実施。 ・上記実施事業について、進行管理を行うため、さむかわ男女共同参画プラン連絡会、さむかわ男女共同参画プラン推進協議会を開催し、平成28年度事業の実績報告、庁内での意見交換、外部委員からの意見等を伺い、とりまとめをした。	
実施結果から見えた課題	・講座等の開催にあたっては、対象者が参加しやすくする必要がある。			・事業の実施については、成果の状況に合わせた工夫が必要である。			・H28事業報告に対する評価については、今後、外部委員の意見等を取りまとめたものを元に、推進協議会としての評価を審議・決定するが、全体として、事業の実施内容についての評価は高い。今後は、事業の実施方法等を工夫する必要がある。	
課題から見える今後の方向性	・講座等の開催にあたっては、対象者に応じて日時の設定を工夫する。			・事業実施結果を詳細に把握し、成果の検証をする。			・取り組みの方向性は、現行のまま継続する。実施結果の分析をし、各事業をより充実させるための方法を検討していく。	

事業概要・実績 (効果・成果)	各事業担当課のH28年度事業実施状況を庁内・庁外の会議で確認することにより、各事業の目標を達成できた理由や今後の改善すべき点等を見出すことができた。	各実施事業の方向性は、現時点で適正であることを確認できた。
--------------------	--	-------------------------------

活動指標	現状値(年度)		単位	目標値	H29	実績値(中間)
会議開催回数	5	H26	回		7	3

↑ H27はプラン改訂年度のため、H26を基準とする。

その他の指標	現状値(年度)		単位	目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位	目標値	H29	実績値(中間)
さむかわ男女共同参画プラン(仕事と生活の調和)実施計画の各事業の年度別目標値達成率	100	H25	%		100	把握時期: 平成30年6月

KPIの達成見込み	—
見込みの理由	平成29年度事業の実績値を把握できる時期が平成30年6月頃予定のため。

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの

活動指標	現状値(年度)	単位
制度周知媒体数	3 H27	件

その他の指標	現状値(年度)	単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)	単位
子育て支援に関する団体等への支援数(累計)	0 H26	件

目標値	H29	実績値(中間)
	3	3

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	6	5

KPIの達成見込み	▲
見込みの理由	新たな申請団体が出てくるような改善が必要

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間値のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	安心なまちづくり整備事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	町民安全課
実施計画事業名	防犯対策推進事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	犯罪抑止を図るため、防犯に対する意識啓発、防犯アドバイザーによるパトロールや講話、職員による青色回転灯装備車での町内走行、公共施設への防犯カメラ設置。						★★★		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
啓発キャンペーン・パトロール・講話									
防犯カメラ設置箇所選定									
防犯カメラ設置箇所調査									
防犯カメラ補助金申請									
防犯カメラ補助金決定									
防犯カメラ購入・設置									
防犯カメラ稼働									
	予定 ≡≡≡ 実績 第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会と防犯カメラ設置校の選定 (仮称)南部コミュニティ施設に防犯アドバイザー1名と新たに防犯相談員2名を配置 5/17(盗難防止)自転車マナーアップキャンペーン 			<ul style="list-style-type: none"> 啓発キャンペーン(茅ヶ崎寒川合同) 防犯カメラ補助金申請 					
取り組みの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 5月下旬に防犯カメラ設置予定校確定(南小学校・寒川東中学校) 4/1から(仮称)南部コミュニティ施設に新たに防犯相談員2名を配置 【防犯意識の啓発回数】 5/17(盗難防止)自転車マナーアップキャンペーン 警察に依頼しての高齢者サロンでの振り込め詐欺対策講話(1回) 			<ul style="list-style-type: none"> 7/19防犯活動講習会(青パト講習会)を職員対象に実施(64人受講)。 7月上旬に防犯カメラ設置箇所現地確認 7月下旬から8月上旬にかけて防犯カメラ機器等の見積聴取 8/20神奈川県地域防犯力強化支援事業補助金申請 【防犯意識の啓発回数】 7/5茅ヶ崎・寒川犯罪ゼロ推進会議街頭キャンペーン 防犯アドバイザーによる学校での会議・講話(3回) 県民のまもり(警察発行)の回覧に協力(1回) 防犯かながわ(警察発行)の回覧に協力(1回) 警察に依頼しての高齢者サロン等での振り込め詐欺対策講話(2回) 			<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラ設置に関しては、県の補助金の関係もあるが概ね順調に進んでいる。 防犯意識の啓発に関しては、様々な機会を捉えて啓発活動を行った。特に、高齢者サロン等からの要請も定着してきており、警察との連携も良い 4/1から(仮称)南部コミュニティ施設に新たに防犯相談員2名を配置 		

実施結果から見えた課題	・茅ヶ崎署管内での振り込め詐欺発生状況の増加	・茅ヶ崎署管内での振り込め詐欺発生状況の増加	・依然として、振り込め詐欺や自転車盗などの犯罪が多く発生している
課題から見える今後の方向性	・防犯及び振り込め詐欺に関しては、啓発を行っていくことが重要なので、積極的な高齢者サロン等への働きかけを行っていく	・防犯及び振り込め詐欺に関しては、啓発を行っていくことが重要なので、積極的な高齢者サロン等への働きかけを行っていく ・関係各所と連携して防犯に対する啓発活動を行っていく	・防犯意識の啓発に関しては、高齢者サロン等からの要請も定着してきているが、要請のあがってこないサロンもあることから、積極的な働きかけが必要と考える ・講話などに来られない高齢者に対する啓発をどのように行うか
事業概要・実績 (効果・成果)	・去年に比べ、茅ヶ崎所管内での振り込め詐欺は増加しているが、町内での発生件数は、減少傾向にあるため、継続的に啓発を行う事が重要	・去年に比べ、町内での自転車盗及び振り込め詐欺の発生件数は、減少傾向にあるため、継続的に啓発を行う事が重要	・高齢者サロンなどで講話することにより、振り込め詐欺に遭いやすい年齢の方たちを対象とした防犯意識の啓発が定着しつつあり、 町内 の振り込め詐欺の発生件数も減少傾向にある

活動指標	現状値(年度)		単位
防犯意識の啓発回数	14	H26	回

目標値	H29	実績値(中間)
	14	10

その他の指標	現状値(年度)		単位
特殊詐欺認知件数	13	H28	件

目標値	H29	実績値(中間)
	12	2(7月末)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数	170	H26	件

目標値	H29	実績値(中間)
	155	55(8月末)

《KPIに関連する事業》
防犯灯整備事業
交番施設整備促進事業

KPIの達成見込み	○
見込みの理由	中間時点において減少傾向となっているため

○: 達成が見込める
▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
-: 中間地のないもの

活動指標	現状値(年度)		単位
防犯灯新規設置数	20	H27	基

その他の指標	現状値(年度)		単位

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数 《KPIに関連する事業》 防犯対策推進事業	170	H26	件

目標値	H29	実績値(中間)
	50	0

目標値	H29	実績値(中間)

目標値	H29	実績値(中間)
	155	55(8月末)

KPIの達成見込み	○
見込みの理由	中間時点において減少傾向となっているため

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	若者参画推進事業						H29上半期の進捗状況	担当課名 協働文化推進課
実施計画事業名	協働事業提案制度推進事業							
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	地域の身近な公共的課題などの解決に向けて提案された、町民と町との協働事業に対して事業協力(補助)を行います。						★★	
	少し遅れています。							
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)	
プレゼンテーションの実施	≡						今年度の事業の実施については、進行管理におけるスケジュールどおり実施しているが、事業の見直しについては課題点が多く、方向性についてまだ定まっていないため。	
補助金交付申請・決定		≡						
協働事業の実施		≡	≡	≡	≡	≡		
前年度事業報告会の実施	≡							
翌年度事業の事前相談								
翌年度事業の申請受付								
進捗状況確認(随時)						≡		
中間報告会の開催				≡				
事業制度の見直し					≡			
	≡ 予定 ≡≡ 実績							
	第1四半期			第2四半期			上半期	
取り組みの実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告会・プレゼンテーションの実施 ・事業採択・不採択の決定 ・補助金交付申請・決定 ・事業制度見直し ・事業の進捗状況確認 			<ul style="list-style-type: none"> ・事業制度見直し ・事業の進捗状況確認 				

<p>取り組みの実施状況</p>	<p>○4/18 提案団体実績報告会(平成28年度実施事業)及び提案団体プレゼンテーション(平成29年度実施事業)を実施し、下の①から⑤までの5事業について、選考委員より意見をいただいた。プレゼンテーションの後、同日寒川町協働事業選考委員会により下の①から⑥までの6事業採択決定(内継続事業5事業)した。</p> <p>①野良猫を捕獲して、不妊去勢手術をして、元の場所に戻す活動(TNR活動)及び子猫の保護と里親制度の活用 ②川とのふれあい公園花壇等の整備および維持管理 ③町の樹木再生による水と緑の自然溢れるさむかわ創生活動 ④子ども未来塾～生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」～ ⑤青色回転灯装着車両による防犯安全パトロール事業 ⑥さむかわ広域リサイクルセンター遊歩道緑地花壇整備事業</p> <p>○5月 補助金の交付に伴い、出納簿の記録、領収書の保存、要綱の遵守等について各団体に指導。</p>	<p>○7/11 事業制度の見直しについて、有識者(文教大学准教授・元茅ヶ崎市市民活動推進委員長)の方に意見を伺った</p> <p>○7/24 まちづくり推進会議で、制度の見直しを進めることを報告</p> <p>○8/29 事業制度の見直しについて、茅ヶ崎市市民活動推進委員の方に意見を伺った</p> <p>○9/11 事業の現場見学・進捗状況確認</p> <p>○9/27 来年度の協働の取り組みに関する町民への啓発事業の内容等について、有識者(文教大学准教授・元茅ヶ崎市市民活動推進委員長)の方に相談した</p> <p>○9/28 茅ヶ崎市の市民討議会等について、茅ヶ崎市市民活動推進委員の方に意見を伺った</p>	<p>・29年度実施事業6事業採択決定(内継続事業5事業) ・28年度実施事業実績報告階開催(5事業) ・事業の進捗状況確認等については、事業提案団体や事業協力課と必要に応じて連絡を取り合った。 ・事業制度の見直しについては、他自治体の情報収集に努め、有識者等に意見を伺った。</p>
<p>実施結果から見えた課題</p>	<p>・事業採択決定が当年度の4月であるため、団体の事業開始時期に影響する。 ・モデル事業終了後の事業の方向性が定まっていない。</p>	<p>・事業提案制度があっても、何年も提案事業がない自治体もある。 ・現行の事業実施団体以外に、提案を見込める団体はない。(現行事業も継続が見込めないものがある。) ・事業提案団体を増やすには、それ以前の段階の住民活動の裾野を広げる必要がある。</p>	<p>・住民活動の裾野を広げる必要性(事業提案対象団体が少ないため) ・事業採択時期の再検討 ・モデル事業終了後の事業の方向性</p>
<p>課題から見える今後の方向性</p>	<p>・次年度の予算要求も考慮すると、前年度の早期に事業募集とプレゼンテーションを実施すべきか検討。 ・モデル事業終了後の方向性を事業終了前に検討する。</p>	<p>・ワークショップを実施したり、協働に関する講座を開催するなど、提案事業に至らないにしても、町民の意識啓発をし、住民活動の裾野を広げていくこと。 ・30年度は制度改正と平行して、上記の事業を進めていく。31年度に、32年度の事業選考を実施。32年度より、新制度による協働事業実施。</p>	<p>・町民の意識啓発をし、住民活動の裾野を広げる。 ・30年度に制度改正と意識啓発、31年度に32年度の事業選考、32年度に新制度協働事業実施。 ・次年度の予算要求も考慮すると、前年度の早期に事業募集とプレゼンテーションを実施すべきか検討。 ・モデル事業終了後の方向性を事業終了前に検討する。 ・32年度事業の選考を前年度(31年度)の予算要求前に実施すると、前々年度(30年度)に新制度策定と団体育成に向けた取り組み期間となる。</p>
<p>事業概要・実績(効果・成果)</p>	<p>・平成29年度採択事業数:6事業(内継続事業5事業) ・前年度事業の検討結果を活かして事業を実施するよう働きかけた。</p>		<p>平成29年度採択事業数:6事業(内継続事業5事業)</p>

活動指標	現状値(年度)		単位
提案件数	7	H27	件

その他の指標	現状値(年度)		単位
新規採用件数	4	H27	件

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
若い世代による協働に向けた取り組み件数(累計)	1	H26	件

《KPIに関連する事業》
 さむかわ若者会議促進事業
 さむかわ町民全体会議推進事業

目標値	H29	実績値(中間)
	3	6

目標値	H29	実績値(中間)
	3	1

目標値	H29	実績値(中間)
	3	0

KPIの達成見込み	▲
見込みの理由	KPIの取り組みは、例年実行委員会主催により寒川みんなの花火が開催され、今年度の実績値は「1」となる見込みです。

○:達成が見込める
 ▲:達成が困難、手法の見直しが必要
 -:中間地のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	若者参画推進事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	企画政策課
実施計画事業名	さむかわ若者会議促進事業							担当課名	協働文化推進課
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	次代を担う若い世代の積極的なまちづくり参画による、若い世代のニーズに合致した施策の構築やさらなる協働のまちづくりの推進、活気ある町の実現を目的に、自主的にまちづくりを考える若者の掘り起こしと意識醸成を図り、若い世代によるまちづくり検討コミュニティ形成に向けたきっかけづくりを行う。 平成29年度については、前年度に引き続き「まちづくり懇談会」の若者・子育て世代編の開催を通して、「寒川青年会議所」・「寒川町商工会青年部」・「JAさがみ農協寒川青壮年部」が中心に発起した「まちびとすたいる(通称:まちすた)」の紹介を行っていく。						★★	少し遅れています。	
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
※若者版「まちづくり懇談会」の開催				■			上半期においては、当初の事業計画のとおり、若者・子育て世代を対象としたまちづくり懇談会を開催できたものの、開催回数は1回に留まったため。		
若者の掘り起こし【随時】				■					
※「地域別まちづくり懇談会開催事業」により実									
	予定			実績					
	第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定				・若者の掘り起こし【随時】 ・若者版「まちづくり懇談会」の開催					
取り組みの実施状況	・団体、学校へ働きかけて、寒川高校との懇談会開催準備を進めた。 ・若者版「まちづくり懇談会」の開催を調整した。 ・6月19日(月):第7回まちすた全体会議開催			・寒川高校とのまちづくり懇談会を開催した。 ・団体、学校へ働きかけて、文教大学との懇談会開催準備を進めた。 ・若者版「まちづくり懇談会」の開催を調整した。 ・7月24日(月):第8回まちすた全体会議開催 ・8月28日(月):第9回まちすた全体会議開催 ・9月26日(火):第10回まちすた全体会議開催					
実施結果から見えた課題	・まちすた主催のイベントについて、開催日程調整・意義・会場・スケジュールの検討			・まちすた開催のイベントについて、企画書・借用物品・参加人数・周知方法・イベント名・参加費・協賛・役割分担の検討・準備物品・当日進行・広報の検討			・まちすた開催のイベントについて、開催日程調整・意義・会場・スケジュールの検討・企画書・借用物品・参加人数・周知方法・イベント名・参加費・協賛・役割分担の検討・準備物品・当日進行・広報の検討		

課題から見える今後の方向性	・まちずた全体会議において検討する。	・まちずた全体会議において検討する。	・まちずた全体会議において検討する。
事業概要・実績 (効果・成果)			

活動指標	現状値(年度)	単位
若者会議開催回数		

目標値	H29	実績値(中間)
	12	3

その他の指標	現状値(年度)	単位

目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)	単位
若い世代による協働に向けた取り組み件数(累	1 H26	件

目標値	H29	実績値(中間)
	3	0

《KPIに関連する事業》
 協働事業提案制度推進事業
 さむかわ町民全体会議推進事業

KPIの達成見込み	▲
見込みの理由	KPIの取り組みは、例年実行委員会主催により寒川みんなの花火が開催され、今年度の実績値は「1」となる見込みです。

- : KPIの達成が見込める
- ▲: KPIの達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの

事業概要・実績 (効果・成果)			
--------------------	--	--	--

活動指標	現状値(年度)	単位

目標値	H29	実績値(中間)
	制度設計・運用準備	

その他の指標	現状値(年度)	単位

目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)	単位
若い世代による協働に向けた取り組み件数(累計)	1 H26	件

目標値	H29	実績値(中間)
	3	0

《KPIに関連する事業》
 さむかわ若者会議促進事業
 協働事業提案制度推進事業

KPIの 達成見込み	▲
見込み の理由	KPIの取り組みは、例年実行委員会主催により寒川みんなの花火が開催され、今年度の実績値は「1」となる見込みです。

○:達成が見込める
 ▲:達成が困難、手法の見直しが必要
 -:中間地のないもの

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票(平成29年度)

2017/9/30

総合戦略事業名	公共交通環境整備事業						H29上半期の進捗状況	担当課名	都市計画課
実施計画事業名	公共交通充実促進事業								
事業の概要 (今年度の取り組み内容)	<p>・コミュニティバス土日運行 運行委託を行い、運行状況を毎月確認し、地域公共交通会議に図り、次年度の運行について検討を行う。 運行内容(東ルート(中型車):11便/日、倉見大村ルート(小型車):12便/日、南ルート(小型車):4便/日)</p> <p>・倉見駅バリアフリー整備事業 JR相模線倉見駅のバリアフリー化早期実現に向け、事業主体であるJR東日本横浜支社と協議を行う。</p>						★★★		
取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(上記評価とした理由)		
業務委託	[Gantt Chart]						<p>・進行管理におけるスケジュールについては、予定通り実施した。 ・新たな取り組みとして、広報において、毎月掲載している利用状況の他に、コミバスとJR相模線の乗り継ぎ例の紹介や、他ルートへ乗り継ぐ際の「乗り継ぎ券」の紹介等、毎月コミバスの利用促進につながる記事を掲載した。</p>		
地域公共交通会議開催	[Gantt Chart]								
利用状況広報報告	[Gantt Chart]								
議会報告	[Gantt Chart]								
JR東日本と協議	[Gantt Chart]								
	予定			実績					
	第1四半期			第2四半期			上半期		
取り組みの実施予定	<ul style="list-style-type: none"> 委託締結 H29スケジュール確認 地域公共交通会議開催 			<ul style="list-style-type: none"> 事業状況集計 					
取り組みの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、広報にコミュニティバスの利用状況と利用の促進につながる記事を掲載した。 5/19地域公共交通会議を開催し、コミュニティバス等の利用実績や車両更新案について報告を行った。 倉見駅バリアフリー化早期実現に向け、JR東日本と協議 			<ul style="list-style-type: none"> 毎月、広報にコミュニティバスの利用状況と利用の促進につながる記事を掲載した。 コミバスの時刻表付きパンフレットを、各公共施設やバス停近くの店舗・薬局等に配布及び掲示した。 9/5建設経済協議会で利用状況を報告 コミバス東ルートの車両更新について、運行事業者と協議 倉見駅バリアフリー化早期実現に向け、JR東日本と協議 			<ul style="list-style-type: none"> 毎月、広報にコミュニティバスの利用状況を掲載 広報6月号で、コミバスの他ルートへの乗り継ぎ際の乗り継ぎ券について紹介 広報7～9月号で、コミバスの各ルートと相模線(各駅)を乗り継ぐ際に待ち時間の少ない乗り継ぎ例を紹介 コミバスの時刻表付きパンフレットを、各公共施設やバス停近くの店舗・薬局等に配布及び掲示した。 コミバス東ルートの車両更新について、運行事業者と協議 JR相模線倉見駅のバリアフリー化早期実現に向け、JR東日本横浜支社と協議 		
実施結果から見えた課題	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス東ルートの車両の老朽化に伴う車両更新の必要性。 倉見駅バリアフリー整備の予定スケジュールの遅れ 			<ul style="list-style-type: none"> コミバスの車両更新に伴う委託費の増加 当初平成30年度未完了予定であった倉見駅バリアフリー整備について、平成31～32年度中の完了予定となった。 			<ul style="list-style-type: none"> 利用状況については引き続き注視する必要がある。 コミバスの車両更新に伴う委託費の増加 JR相模線倉見駅のバリアフリー整備について、当初の完了予定は平成30年度末であったが、JR東日本管内においてホームドアの整備を優先させたことからスケジュールに遅れが生じ、平成31～32年度中の完了予定となった。 		

課題から見える今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・車両更新について検討及び運行事業者と協議を行う。 ・倉見駅バリアフリー整備について、JR東日本にバリアフリー化までの具体的なスケジュールを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミバスの車両更新費を含む委託費の抑制について運行事業者と交渉する。 ・倉見駅バリアフリー整備について、この示されたスケジュールに遅れがないよう引き続きJR東日本と協議を行うとともに、進捗状況を随時確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広報でのコミバスの利用状況の報告を行う。また、下半期については、イベント等での時刻表等パンフレットの配布等、利用促進を行う。 ・コミバスの車両更新等による委託費の増加については抑制できるか検討し、運行事業者と協議する。 ・JR相模線倉見駅のバリアフリー整備について、この示されたスケジュールに遅れがないよう引き続きJR東日本と協議を行うとともに、進捗状況を随時確認する。
事業概要・実績 (効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミバス土休日1便当たり平均利用者数の昨年度同時期との比較(H28.4～8月)→(H29.4～8月) 【倉見大村ルート】3.89→4.11、【南ルート】1.68→1.7、【東ルート】6.67→6.21 土休日の利用者数について、3ルート中2ルート増加している。 ・寒川町内で、バリアフリー化が図られていない駅は全3駅(寒川駅・宮山駅・倉見駅)中、倉見駅のみであり、完了予定は平成31～32年度であるため、平成29年度のKPIIに変化はない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コミバスの土休日の利用者数については、昨年と比べ、3ルート中2ルート増加しているものの、全体的にはほぼ横ばいである。引き続き利用者増に向け、今後も広報等での啓発活動を随時行う必要があり、PDCAサイクルのもと適切に進行管理を行っていく。 ・寒川町内で、バリアフリー化が図られていない駅は全3駅(寒川駅・宮山駅・倉見駅)中、倉見駅のみであり、完了予定は平成31～32年度であるため、平成29年度のKPIIに変化はない。

活動指標	現状値(年度)	単位
需要喚起を促すためコミバス乗客数の広報掲載	12	回

目標値	H29	実績値(中間)
	12	6

その他の指標	現状値(年度)	単位

目標値	H29	実績値(中間)

重要業績評価指標(KPI)	現状値(年度)		単位
コミュニティバス土・日曜日運行乗降客数	129	H28	人
寒川町内の駅バリアフリー対策率	66.6	H28	%

目標値	H29	実績値(中間)
	155	124(4～8月)
	66.6	66.6

KPIの達成見込み	▲
見込みの理由	1日平均の利用者数について、目標値と中間値との差が大きいため、下半期については引き続き広報・HPでの利用促進につながる記事の掲載や、公共施設や店舗等への時刻表付きパンフレットの配布等を行うとともに、イベント等で啓発活動を行う等随時利用促進策の検討と実施を行う。

- : 達成が見込める
- ▲: 達成が困難、手法の見直しが必要
- : 中間地のないもの